

第31回 通常総会資料

平成19年6月19日(火)

名古屋市中区錦 3-18-21

東京第一ホテル 錦

TEL 052-955-1001(代表)

自平成18年5月 1日

至平成19年4月30日

全日本プラスチックリサイクル工業会

愛知県名古屋市東区相生町55番地

TEL 052 - 931 - 1211

総会次第

1. 開会宣言

2. 会長挨拶

3. 総会成立宣言

4. 議長選出

5. 議事

- 1) 第1号議案 平成18年度事業報告及び決算関係書類承認の件
(監査報告)
- 2) 第2号議案 平成19年度事業計画(案)及び収支予算(案)承認の件
- 3) 第3号議案 経費の賦課金徴収方法決定の件
- 4) 第4号議案 役員改選の件

6. 議長挨拶降壇

7. 万歳三唱

8. 閉会のことば

懇親パ - ティ -

1. 会長挨拶

2. 来賓祝辞

3. 乾杯

4. 中 〆

第1号議案

平成18年度 事業報告書

自 平成18年5月1日 至 平成19年4月30日

1. 概況

今や中国の話題を無しに概況を語れなくなってきました。年々大きく様変わりしていく私達のプラスチック業界、今年度に入り品不足による奪い合いで特に荷動きが鈍化している。ここ2・3年の動きとは少し様相が違ってきています。又ペットボトルの国内循環型システムも価格の高騰でこのシステムをも揺るがしかねない。一方中国・香港を中心に廃プラスチックの日本からの輸出量は前年比20万トン増加し110万トンぐらいになっている。しかしながら輸出される材料の中にはバーゼル法に係わるような物もあり、加えて中国側での加工時に発生する有害物質の垂れ流しも有り環境問題が指摘されている。よって日本側の通関も中国側の通関もより厳しくなってストップされたりシッピングバックされるコンテナもかなりあるようです。又環境設備の不十分な工場は稼働停止を強いられているようである。尚、中国側の輸入関税も引き上げられ日本側の輸出材料に価格等の影響が出ております。

日本国内に於いては、石油価格の影響でバージン樹脂の価格は依然高値で推移している。ここへ来て又5月半ば以降より値上げを示しました。理由は、ナフサ・エチレン・ブタジエンなどの価格上昇に加え副原料や物流コスト増のためであり私達は又それぞれの加工経路で価格添加するのに苦慮する所であります。

今年度アメリカの国際経営開発協会が発表した世界55カ国の国際競争力の順位ですが1位がアメリカ2位がシンガポール3位が香港、日本は16位から36位に下がりました中国は15位に上がってきております。これを見る限り日本人の仕事に対する意欲が下がっていることが分かります。私達も世界に取り残されないように努力していきたいと思っております。

2. 会員の移動

会員	区分	18年4月	19年4月	増減	摘要
関東プラスチックリサイクル協同組合		46	46	0	
日本合成樹脂有効利用組合		5	5	0	
東日本プラスチック再生協同組合		29	34	+5	
愛知県プラスチックリサイクル協同組合		35	36	+1	
北陸合成樹脂商工会		5	5	0	
京滋プラスチックリサイクル工業会		11	12	+1	
関西プラスチックリサイクル商工会		13	13	0	
九州プラスチックリサイクル工業会		6	6	0	
個人会員		6	6	0	
合計		156	163	+7	

3. 会議開催状況

(1) 総会

- イ. 開催日時 平成18年6月20日(火)
- ロ. 開催場所 東京第一ホテル 錦(名古屋)
- ハ. 出席者数 48名 (本人出席36名 (委任状12名))

ニ. 議事の経過及び議決の結果

平成17年度事業報告及び決算を承認したあと、平成18年度事業計画及び予算案を議決した。そして、経費の賦課金徴収方法の件、と全議案の審議を終了した。

(2) 第1回常任理事会

- イ. 開催日時 平成18年6月20日(火)
 - ロ. 開催場所 東京第一ホテル 錦(名古屋)
 - ハ. 出席者数 24名 (本人出席19名 (委任状5名)) + 事務局2名
- #### ニ. 協議事項

1. 第30回通常総会及び懇親パーティの役割分担について
2. 平成17年度決算報告、平成18年度予算案の審議について
3. 平成19年度の役員の移動はどうか？
4. 産業廃棄物業者加入可否についての参考資料報告
5. PETボトルが急騰し、その動向の変化状況について
6. 市況分析その他

(3) 第2回常任理事会

- イ. 開催日時 平成19年3月8日(木)
 - ロ. 開催場所 東京第一ホテル 錦(名古屋)
 - ハ. 出席者数 18名 (本人出席18名) + 事務局2名
- #### ニ. 協議事項

1. 「エコハーフ環境ラベル」の取得について
2. 総会について
 - イ) 開催日について
 - ロ) タイムスケジュールについて
 - ハ) 仮決算報告
 - ニ) 事業計画(案)・予算(案)について
3. 役員改選について
4. ソニー(株)特許出願その後について
5. リサイクル推進協議会の表彰について
6. 市況分析その他

4. 事業の状況

(1) 組織の強化

(2) 広告宣伝活動

(3) 関係団体との連携

(4) その他

* 30周年記念講演会(総会后2～3時まで1時間)

参議員議員、内藤正光氏による「通常国会をおえて」と題して記念講演会を開催した。内容は、政治(国会)、資源リサイクル問題、拉致問題、格差問題の本質と幅広く、大きな視野からの話であった。大変興味深く聞き入っていた。

* 30周年功労者感謝状贈呈

関東	石塚化学産業(株)	石塚銀一氏
	大塚産業(株)	故大塚善次郎氏
	進栄化成(株)	進藤善夫氏
愛知	いその(株)	磯野俊雄氏

平成18年度 収支(予算・実績)対比

自 平成17年5月 1日

至 平成18年4月30日

収入の部

(単位：円)

科 目	予 算	実 績	増 減	摘 要
賦課金	780,000	785,000	5,000	関東 46 230,000 日本有 5 25,000
参加費収入	60,000	75,000	15,000	東日本 29 145,000 愛知 35 175,000
				*フロック参加5名 *一般参加5名
				九州 6 30,000 北陸 5 25,000
				関西 13 65,000 京滋 11 55,000
				*京滋 賦課金請求時 1社加入
受取利息	30	1,534	1,504	個人 6 30,000
その他収入	3,000	0	-3,000	名簿売却代
前年度繰越金	3,437,200	3,437,200	0	
合 計	4,280,230	4,298,734	18,504	計 156 780,000

支出の部

科 目	予 算	実 績	増 減	摘 要
教育情報費	200,000	100,000	-100,000	予 業界懇談会費用 実 30周年記念 講演会講師御礼
調査研究費	100,000	0	-100,000	予 調査費 実 無し
会議費	750,000	820,260	70,260	予 第30回通常総会会費・常任理事会 実 第30回通常総会費・常任理事会
福利厚生費	150,000	120,000	-30,000	予 慶弔費 実 30周年記念 歴代会長4名 記念品代(商品券)
通信費	5,000	1,040	-3,960	予 郵便料 実 郵便料(賦課金請求)
広告宣伝費	70,000	42,000	-28,000	予 業界紙広告料 実 エンブレニュース6月号 30周年総会掲載
事務用消耗品費	10,000	0	-10,000	予 事務用品代 実 無し
支払手数料	2,500	1,260	-1,240	予 振込手数料等 実 振込手数料等
旅費交通費	100,000	0	-100,000	予 交通費 実 無し
雑費	100,000	28,917	-71,083	予 その他諸経費 実 30周年記念 感謝状4枚・総会来賓手土産代
翌年度繰越金	2,792,730	3,185,257	392,527	
合 計	4,280,230	4,298,734	18,504	

会計監査報告書

平成18年度決算について厳正に監査した結果、別紙収支決算の通り間違いのない事を報告致します。

平成19年6月19日

全日本プラスチックリサイクル工業会

監事 井上 謙

監事 中山 雄二郎

自 平成19年5月 1日

至 平成20年4月30日

1. 基本方針

循環型社会形成推進基本法をはじめ、リサイクル関連6法の制定、改正がなされて以後も、家電リサイクル法、建設リサイクル法、自動車リサイクル法と施工され資源循環型社会の実現を目指し社会は大きく様変わりし、私達工業会の当初と比べますと想像もつかない程のリサイクル事業が展開されております。しかも他業種の企業が多く、私達も無関心ではおられません。この機会をとらえ、さらにもう一步踏み込んだリサイクル事業を考え活動したいと思います。又、グローバル化された経済動向を見ますとかなりのスピードで情報、物流が動いております。その様な中で会員企業が連携し、更なる組織強化と情報提供をして、社会の発展に貢献していきたいと思っております。

2. 事業計画

(1) 組織の拡大強化

組織の強化に努め、工業会の活性化を図る。

(2) 広報宣伝活動

業界紙に広告を掲載する。

ホームページを作り、活用する。

(3) 教育情報・調査研究活動

組織の拡大強化

組織の強化に努め、工業会の活性を図る。

業界懇親会開催

業界の現況、今後の見通し及び当面する諸問題(特に環境・リサイクル関連)について情報交換を行い、検討・協議するため懇親会を開催する。

関係団体等開催の講習会への参加

(4) 関係官庁・団体との連絡

経済産業省化学課

日本プラスチック工業連盟

(社)プラスチック処理促進協会

日本プラスチック有効利用組合

中国国家質量検験検疫総局

平成19年度 収支予算・(案)

自 平成19年5月 1日

至 平成20年4月30日

収入の部

(単位：円)

科 目	金 額	摘 要			
賦課金	815,000	関東 46	230,000	日本有 5	25,000
参加費収入	45,000	東日本34	170,000	愛知 36	180,000
		九州 6	30,000	北陸 5	25,000
受取利息	1,600	関西 13	65,000	京滋 12	60,000
その他収入	3,000	会員名簿等		個人 6	30,000
前年度繰越金	3,185,257	現金 36,800 普通預金 3,148,457		計 163社	815,000
合 計	4,049,857				

支出の部

科 目	金 額	摘 要
教育情報費	100,000	業界懇談会費用
調査研究費	100,000	調査費
会議費	700,000	第31回通常総会会費・常任理事会
福利厚生費	30,000	慶弔費
通信費	2,000	郵便料
広告宣伝費	70,000	業界紙広告料 (エンブレニュース等)
事務用消耗品費	10,000	事務用品代 (資料コピー等)
支払手数料	2,500	振込手数料等
旅費交通費	100,000	交通費
雑費	100,000	その他諸経費
翌年度繰越金	3,035,357	
合 計	4,049,857	

第3号議案 経費の賦課金徴収方法決定の件(案)

定款第12条

- ・本会は、その行う事業の費用(使用料又は、手数料をもって充てるべきものを除く)に充てるための会員に経費を賦課することができる。
- ・前項の経費の額、その徴収の時期及び方法その他必要な事項は、総会において定める。

会費 金5,000円/一社 時期 - 総会后3ヶ月以内

方法は振込手数料を差し引かない。個人会員は除き各団体単位。

第4号議案 役員改選(案) 平成19.20年度(一期2年間)

会長	(愛知) 磯野俊雄	
副会長	(関東) 大塚一郎	(九州) 酒井喜久雄
専務理事	(愛知) 浅野敏夫	
監事	(関東) 井上 謙	(東日本) 中山晃一
相談役	(九州) 江上幸隆	(関東) 進藤善夫
事務局	(愛知) 杉浦光行	(愛知) 浅野 真 (敬称略)